



横浜出身の名僧

印融法印 500 回忌記念イベント 開催します

印融法印は、戦国時代に横浜市域を中心に南関東各地の真言宗寺院を復興した名僧で、室町時代の永享7年(1435)に都筑郡久保村(緑区三保町)に生まれ、京都や奈良の寺々で修行を積んだ後、高野山無量光院の住職となりました。その後関東の真言宗の衰退を憂えて下向し、各地で弟子の育成や著作活動に尽力しました。

永正16年(1519)8月15日に印融法印が85歳で入寂してから、今年は500回忌にあたります。それを記念して、その功績や生涯をたどる講演会や僧侶によるパフォーマンス、ミニ展示を開催します。

(1) 印融法印 500 回忌記念講演会 「印融—その生涯と学問—」

主催：駕牛会・印融法印五百回忌法会実行委員会、横浜市歴史博物館

- ・日時：平成30年7月21日(土)13時～16時10分(開場は12時30分)
- ・定員：175名 当日先着順(定員になり次第、受付を終了します)
- ・参加費：無料
- ・会場：横浜市歴史博物館 講堂

●講演会 13:00～15:30

- ・相澤雅雄氏(郷土史家、『図説都筑の歴史』編纂委員)
「印融法印ゆかりの地・横浜市緑区の遺跡をめぐる」
- ・西岡芳文氏(上智大学特任教授)
「中世の横浜と印融法印の周辺」

●真言宗僧侶によるパフォーマンス 15:50～16:10

「真言声明と僧侶のファッション」



印融像
港北区三会寺蔵

(2) 常設展示室ミニ展示『印融法印関係資料』

印融法印は関東の寺院を拠点として、弟子の育成や文献書写、文筆活動にいそしみ、その著作は生涯で60冊余りに及びます。本展示では印融法印に関わる貴重な資料をご紹介します。

- ・会期：平成30年7月21日(土)～9月2日(日)
- ・会場：常設展示室内
- ・料金：常設展観覧料 大人400円、高校・大学生200円、小・中学生100円

★印融法印の書状初公開！

今夏発見された印融法印の新出資料と、関わりの深い横浜市指定文化財「宝生寺印信集」をあわせて特別に公開します。(展示期間：7月21日(土)～8月12日(日))

お問合せ先

横浜市歴史博物館 副館長 井上攻・担当学芸員 阿諏訪青美

TEL045-912-7777